



RI会長 カルヤン・パネルジー

第2790地区ガバナー

山田 修平

第5分区ガバナー補佐

釜田 英之

第5分区幹事

池田 哲夫

第2790地区地区委員

広報・IT委員会

勝浦RC 関 一憲

クラブ研修委員会

勝浦RC 齋藤 豊久

クラブ社会奉仕委員会

鋸南RC 三橋 美子

R財団寄付金小委員会

鴨川RC 伊藤 正人

勝浦ロータリークラブ

会長 関 正己

幹事 漆原 摂子

クラブ会報委員長 渡邊 昌俊

副委員長 齋藤 麻美子

委員 石井 美香子

渡邊 ヒロ子

### ◆4月20日(金)のプログラム

ゲスト卓話

勝浦市役所・防災課 中村 泰輔氏

### ◆今後の4月のプログラム

27日(金) ゲスト卓話

大多喜町・ALT レベッカ・オニール氏

### ◆5月のプログラム

4日(金) 休会

11日(金)、18日(金)

クラブフォーラム 地区協議会

22日(火) 3クラブ合同例会

(鴨川ホテル三日月にて)

25日(金) 休会

※3クラブ合同例会へ振替

### ●会長挨拶 関正己会長



こんにちは。昨年の大震災以来日本も世界も激しく変わっている気がします。5月5日には日本の原発がすべて止まります。政府としては大飯原発を何としても稼働させようとしていますが、ストレステストをクリアすれば稼働OKと言うのはどうしても納得できません。

人類が濃縮ウランを原子力発電という平和利用に使用するといいても、稼働中に出来る自然界に無い恐ろしい物質が次々と作り出され、その最終処分が確立されていないわけですから。

フランスで再処理された使用済核燃料、ガラス固化されたプルトニウムが青森県六ヶ所村に運ばれ、その黄色い放射性物質のマークの入った円筒形の容器に、にわか雨が当たった瞬間ジュンと蒸発するほど熱かったそうです。これを地下数百mに埋めると聞いていますが、何とも物騒な話です。個人的には絶対反対です。再処理工場はまだ本格稼働していません。

一方本日7:30分過ぎに国際社会から非難されている北朝鮮のミサイルが発射されました。日本ではPAC3やイージス艦に搭載されているSM3で万が一の時には迎撃の命令が下されていましたが、実際は打ち上げに失敗、「撃たせない」ようにアメリカ、日本、韓国、中国、ロシアが懸命に外交努力をしましたが、それもかなわなかったようです。この事に依って北に対し更に国際社会の締め付けが強まるでしょう。

ちなみに、射程距離に限界の或るPAC3 SM3は試射の時命中率が100%ではなかったそうです。世界中のリーダーがロータリーの精神を見習ってくれると良いのですが。

今日は朝日新聞記者、(高木氏)の客観的に見た勝浦、どうしたら勝浦を生かせるか、記者の眼を通した良し悪しを語ってくれると思います。

### ●幹事報告 漆原摂子君

1. 国際R日本事務局より 第3回日台ロータリー親善会議の案内

6月1日(金)京都にて、登録料15,000円

## 新入会員紹介 渡辺光一君



池田さんとは長い付き合いで、飲み屋とかで会っておりました。右も左もロータリーのことはわかりませんので、これからよろしく願いいたします。

## ●ニコニコBOX

### ○結婚記念日

#### ◆林重利君



こんにちは。二人とも元気でそれなりの生活をしております。これからもよろしく願いいたします。

### ○本人誕生日、結婚記念日

#### ◆君塚七郎君



ダブルでお祝いいただきました。金曜日の13日。私にとって貴重に日でありまして、私の生まれた昭和9年4月13日も金曜日でした。今日は大勢の人が出席してお祝いしていただきありがとうございます。

木更津では、日本一のアウトレットができるということで、向こうでもお祝いをやってくれているということで、私も非常に嬉しい限りです。先週は5日が結婚記念日で、6日の例会の後免許の書き換えがありまして、大原教習所で講習を受けました。認知症のテストとか判断力のテストとか色々ありまして、100点で卒業してきました。

18歳で免許を取得し、今年で78歳になりますので、免許をとって60年になります。免許を取るのが好きで5種類の免許を立て続けにとりました。小型自動車取って、大型自動車取って、自動三輪車取って、自動二輪車取って、サイドカー取って。今は、普通免許だけですけど…。

当時は、教習所行かなくて免許を取りました。自分の家に酒を運ぶダットサンと、水島の三輪車がありましたから、路上で練習して450円で最初の免許を取りました。それから2年間かけて5つの免許を取りました。教官が「めずらしい人ですねえ」と驚いておりました。

これからも運転しますし、この前テストには合格したんですが、時々ポケットとして、うっかりすることもあるんで、やっぱり鈍くなっていますから、気を付けて運転していかなくてはなあと思っているところです。

## ●卓話

### ◆朝日新聞 千葉総局 高木和男様

「新聞記者から見た勝浦市の長所・欠点について」



茂原支局長は長生郡のほか、山武郡と夷隅郡内での出来事取材し、新聞に原稿を書いています。

2008年から4年間、勝浦市内の各種イベントや選挙などを取材した経験を踏まえて、勝浦市の発展をどう進めるかについての私見を述べたいと思います。

ご存知のように勝浦は千葉市から南へ60キロ、アクアラインを使えば都心から75キロで、東京から近くはないが、十分に日帰りの観光地で、3月のビッグひな祭りなどは東京からの観光客でにぎわう。風光明媚で、温暖な気候、住民は親切で近所づきあいもいい。住むには本当に素晴らしい地域です。しかし、課題は非常に多い市だというのが率直な感想です。

本日の4月13日付朝日新聞千葉版に「お万の方の小説執筆中」と題して私の署名記事を掲載しています。千葉市に住む歴史民俗研究家が「歴史的な功績が大きいお万の方を知らない人が多い。小説を書いて多くの人に知って欲しい」と小説を書き始めたという内容です。勝浦には多くの歴史があり、歴史上の人物も多いのですが、外部への発信が弱いと感じます。この歴史民俗研究家も勝浦の人が発信しないので、代わりに自分がお万を紹介しようとペンを握りました。

まず勝浦の最大の課題は人口減です。これは皆さんが百もご承知のことでしょうが、市政施行の1958年が人口3万1,400人だったのが直近の統計では2万201人で、首都圏の市では人口が3万人以下は勝浦市だけです。市内唯一の公立高校の県立勝浦若潮高校も事実上、いすみ市の大原高校に吸収統合される。猿田市長は高校がない市は存在そのものが問われると言っていたが、まさに、人口は激減し、高校さえなくなる市となったわけです。過疎と高齢化が進み、地域としての発展が危ぶまれているのが実情です。

こうしたことはすでに20、30年前から言われてきたことで、国際武道大が来る前は、漁業の町からの脱皮、学園都市としての街づくり、観光産業の育成などが提唱された。幸いに国際武道大の誘致には成功した。現在学生数は2,100人で、同市の若者の数が増えることに貢献しましたが、同大開学の1984年以降も市全体の人口は減り続けています。

なぜ、こうなったのか、色々な理由があるでしょうが、1つには、勝浦の住民の危機感の薄さがあるのではないのでしょうか。気候が温暖で、農林水産物が豊富で、生活に困らない。何とか生きていけるということで、危機意識があまりない。こうして、何とかなるさ、という気持ちで問題が大きくなるまで放置してしまったのではないでしょう。

勝浦若潮高校の事実上の廃校も、長年、入学者数が激減していたことは明白だったので、地元も協力して入学者数を増やす協力をしてよかった。県教育委員会が統合を決めてから、あわてて統合反対の署名活動をして最後の祭りです。

こうした現状での勝浦の発展策は何か。

勝浦市も市外からの移住者を積極的に受け入れることに積極的に乗り出しています。ただ、外房の各自治体も同じようなことはすでに取り組んでおり、勝浦ならではの特色が必要だと思います。

私見としては以下のようなことが考えられます。

#### ① 企業誘致

圏央道開通にともなう交通アクセスの良さに着目して、工業団地を造成して雇用の場を確保できる、企業を誘致する。それも、環境にやさしい医薬品、バイオ関係を優先する。

#### ② 塩田病院の高度医療機関をさらに充実させ、医療と福祉の街として全国に売る

高齢者にとって近くに良い病院があれば安心できます。塩田病院の拡充のほか、もう一つ大手の病院が進出すれば、移住する高齢者も増えるでしょう。

#### ③ 通年型の観光

宿泊客を増やす。毎年恒例のビッグひな祭りや様々なイベントがありますが、もっと強化したい。特にビッグひな祭りは期間が短いので、一ヶ月程度は開催し、常設の人形展示館も設け、一年を通じて観光客が見学できるようにするもアイデアではないでしょうか。

## ④合併による規模拡大。御宿、大多喜との合併か、鴨川との合併

行政の効率化や、大規模事業を実施するには自治体の規模が大きい方がやりやすい。人口が2万人を切る前に御宿、大多喜、あるいは鴨川との合併も検討すべきでしょう。特に鴨川には亀田病院があり、塩田病院と合わせて、同じ市に2つの大病院があることは高齢者には魅力的です。

もし、このままでは、400年も続く朝市も衰退するばかりでしょう。朝市も同じような物ばかり売っている印象があり、そろそろ何らかの改善策が必要と感じます。特に若い人の出店が増える工夫が必要で、私見としては、サーファーに協力してもらうのはどうでしょうか。

また、勝浦タンタンメンも全国的に知られましたが、単価が安いので、もう少し単価が高いグルメを開発してもいいと思います。

以上、お話ししましたが、勝浦ロータリークラブは地元の各界の素晴らしいリーダーばかりですので、地域活性化のために、皆様が外部に発言していくことが大事だと感じます。勝浦の発展を祈念します。ご静聴、ありがとうございました。

## ○榊田商工会青年部長の質問に回答する高木様



## ○講師紹介

高木さんは、早稲田大学、政治経済学部卒業後、1979年4月、朝日新聞に記者として入社。静岡支局、水戸支局に記者として勤務し、県警や県庁など担当して取材。その後、東京本社社会部に勤務し、警視庁や労働省（現在の厚生労働省）などを担当。

1992年には、東京銀座ロータリークラブスポンサーでオーストラリアのメルボルンのモナッシュ大学へ留学（ロータリー財団奨学生）。奨学生としてその経験を評価され、1998年から3年間オーストラリアの朝日新聞シドニー支局長を担当しました。帰国後、朝日新聞国際本部に勤務後、朝日新聞成田支局長、茂原支局長を4年歴任し、本年から朝日新聞千葉総局で遊軍記者として県内の出来事取材する



## 出席報告 4月13日（金）

出席委員会 手塚 明宏 委員長

会員	出席	MU	欠席	出席率
38名	31名	2名	5名	86.84%

欠席：浅野玄航、斎藤義典、前田安彦、吉野裕子、渡辺保